

会議録要旨

(1) 会議の名称	第5回手話言語条例検討委員会
(2) 開催日時	令和2年1月23日（木曜日）午後7時～午後8時
(3) 開催場所	市民プラザたけふ 大会議室1
(4) 出席委員氏名	青井委員 奥村委員 森本委員 小林照子委員 鶴井委員 澤崎委員 児玉委員 菘輪委員 小林英典委員 藤木委員 山下委員
(5) 欠席委員氏名	
(6) 出席所管課職員職氏名	市民福祉部 川崎部長 社会福祉課 笹田課長、神門副課長、山森主事、城戸(嘱託)
(7) 会議議題	①手話言語条例について ②その他
(8) 傍聴者の数	7人
(9) 会議資料の名称	・資料1 越前市手話言語条例案 ・資料2 新旧対照表
(10) 会議の内容の要旨	<p>①事務局より手話言語条例案について前回から修正した箇所を説明した。基本推進方針と施策の推進について、一部修正をしたが、内容自体に変更はないと報告した。また、施策の推進において意見を反映させる場として設置を検討していた「機関」について、委員には運営も含めて協働で行いたいため「会議」に変更したことを報告した。</p> <p>②事務局が再提示した手話言語条例案について、承認いただいた。なお、法令担当による条文の助詞などの修正指示があった場合は事務局が対応するが、今回提示した条例案の内容に変更はないことを踏まえて、条例案を確定した。</p> <p>③最後に、各検討委員が述べた所感は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで活発な会議ができ、全委員の意見や思いを条例に反映させることができた。条例案が可決されることを祈る。 ・言葉の選び方が難しかったが、最後には大変分かりやすい条例になったと思う。今後、条例をきっかけに手話への理解と手話の普及が広がっていくことを願う。 ・条例は硬いイメージがあるが、今回の条例案はとても親しみやすい名称と内容となっているので素晴らしいと思う。 ・この条例の制定が、当事者とその家族が安心して住みやすい地域社会をつくる契機となってほしい。また、手話が越前市において当たり前の言語で、自然な存在となることを願う。 ・条例の制定は始まりであって、次のステップである具体的施策を決めていくことも大切なので、たくさんのアイデアをだしていきたい。
(11) その他	—